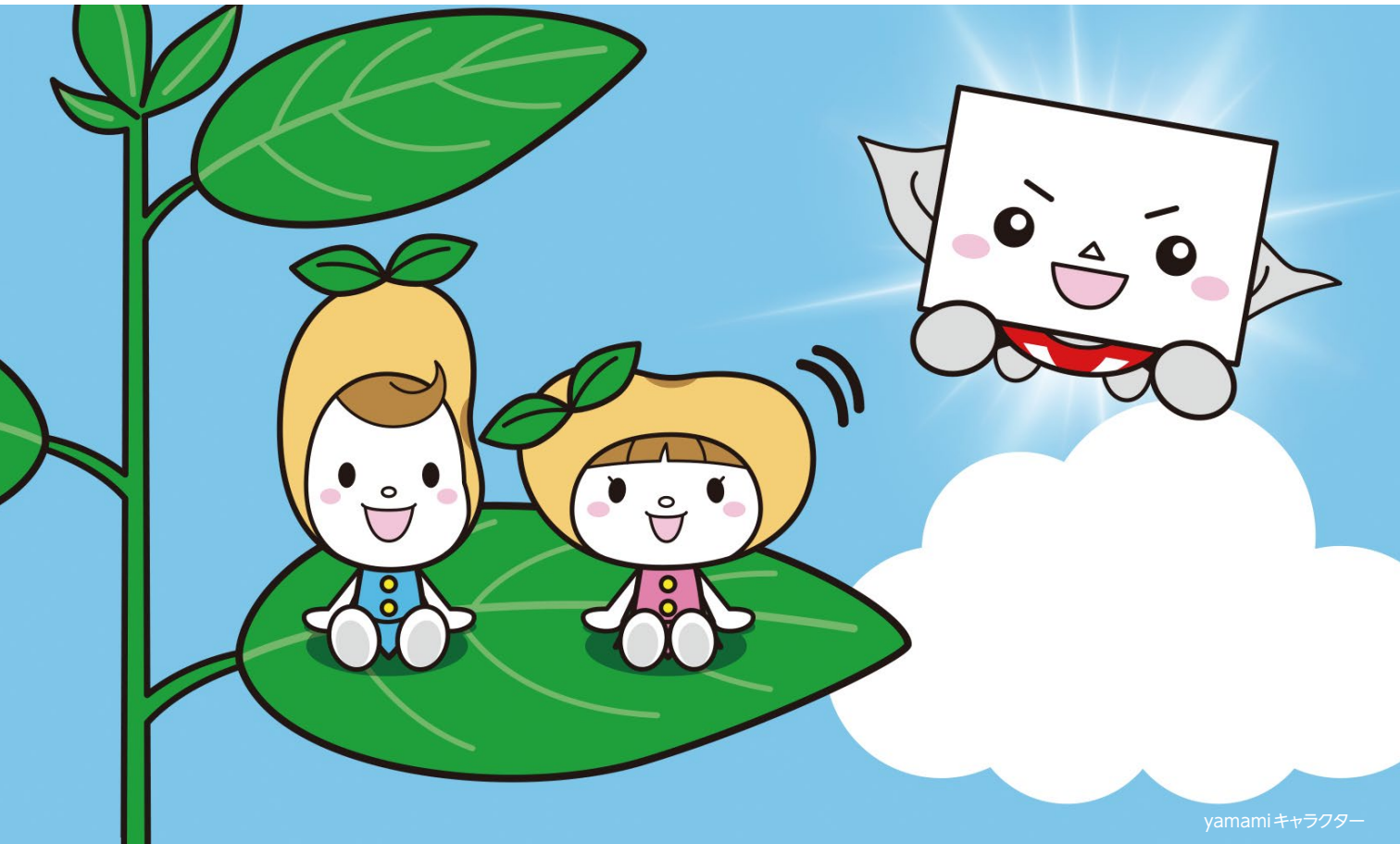


第52期 株主通信

2025年7月1日～2026年6月30日



yamami キャラクター

YAMAMI REPORT

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社の第52期(2025年7月1日から2026年6月30日まで)における事業状況についてご報告申し上げます。

2026年9月
やまな とおる
代表取締役社長 山名 徹

上場以来10年連続の増収を達成し、 売上高、各利益ともに過去最高を更新

2026年6月期決算について

2026年6月期の売上高は、23,238百万円(前期比10.3%増)となり、過去最高を更新いたしました。6月実施の価格改定に加え、主力商品の販売数量増加が寄与したほか、関東地区での受注拡大に対応するため工場間の供給体制を最適化したことで全工場において売上高が伸びました。

利益面では、大豆価格の低下があった一方で、包装資材価格等の高騰、エネルギーコストの高止まり、人件費の増加などにより製造原価は948百万円増加いたしました。しかしながら、販売数量の増加による生産効率の向上や、製造工程の改善が進んだ結果、売上総利益は1,218百万円増加の5,541百万円となりました。これにより、営業利益、経常利益および当期純利益についても過去最高益を達成いたしました。

中期経営計画(ローリングプラン)について

2026年6月期の売上高は、全工場における販売数量の増加により売上高は計画を達成いたしました。また、利益面ではエネルギーコストや人件費の上昇があったものの、生産性向上や販売拡大等により修正後の利益目

標を上回る実績となりました。

2027年6月期は、富士山麓工場第2工場新設により生産能力を増強するとともに、関東圏での販売拡大を推進し、さらなる成長を実現するため、新たな3カ年中期経営計画を策定いたしました(表)。

今後の取組みについて

豆腐製造業では寡占化が進展しており、包装資材価格の高騰や国内の労働人口減少に伴う人件費の上昇など、事業環境は引き続き厳しさを増しております。こうした環境下で、当社への引合いは増加傾向にあり、国内最大市場である関東圏でのシェア拡大を図ってまいります。

当社は、推定市場規模6,000億円の豆腐・豆腐関連製品市場においてシェア10%の獲得を中長期的な経営目標として掲げております。

また、需要が高く高度な製造技術を要する製品については、自動化投資を積極的に推進し、高付加価値かつ競争力の高い商品の開発・供給を進めることで、収益力の向上と顧客満足度の向上を図ってまいります。

さらに、サプライチェーンの重要な一員として、安心・安全な製品の安定供給体制を強化するとともに、衛生管理の徹底、物流の効率化、生産性向上および製造原価低減などに取り組み、中長期的な企業価値向上と持続的成長を実現してまいります。

表: 中期経営計画(ローリングプラン)

(単位: 百万円)

	2027年6月期(予想)		2028年6月期(計画)		2029年6月期(計画)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
売上高	26,500	14.0%	28,500	7.5%	30,500	7.0%
営業利益	3,180	20.0%	3,850	21.1%	4,420	14.8%
経常利益	3,180	19.0%	3,850	21.1%	4,420	14.8%
当期純利益	2,067	7.5%	2,502	21.0%	2,873	14.8%



新商品のご紹介

ライフスタイルの変化によって大きく変化する消費者のニーズを捉え、商品開発へ直ちに反映できる点が当社の強みの一つです。今後も、良質な大豆の使用・手間が省けるなど付加価値のある商品提案を行ってまいります。また、現行商品におきましても、さらなる改良を重ね、より美味しく・使いやすい商品の開発に尽力していきます。



北海道産大豆
豆騎士(マメナイト) 500g

通常の充填豆腐より固めで大きな豆腐です。春夏バージョンのパッケージです。



北海道産大豆
油あげ 8枚入

既存商品(6枚入)より枚数が増えた8枚入の油あげです。



北海道産大豆 枝豆スタイル 3個(左)
北海道産大豆 とうふスタイル 3個(中央)
北海道産大豆 アーモンドプラス 3個(右)

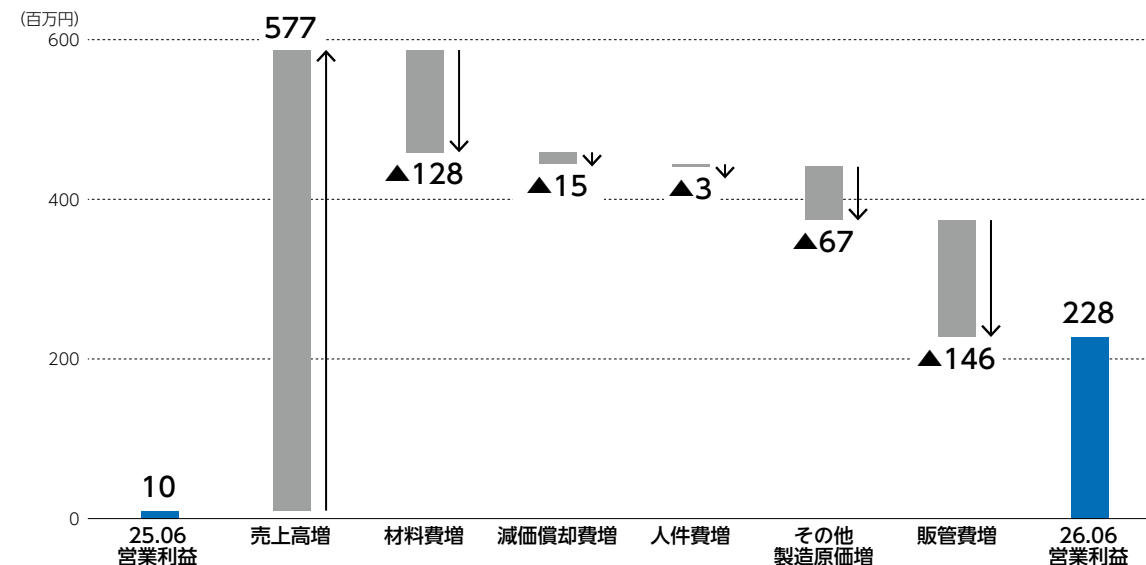
舟形(楕円形)の容器を使用した充填豆腐です。今後新しくアーモンドエキスを配合した「アーモンドプラス」を発売予定です。

※「アーモンドプラス」のパッケージは変更する場合がございます。

その他の製品紹介はこちら▶ <https://www.yamami.co.jp/product/>



富士山麓工場の進捗について



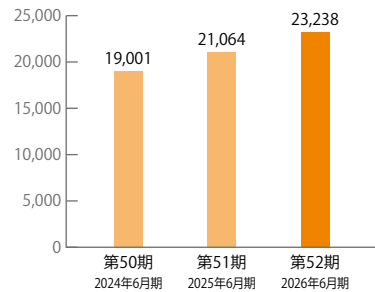
POINT ① 売上高

富士山麓工場では、関東エリアにおける営業活動の成果により、当社製品の品質や競争力に対する評価が着実に向上しております。既存取引先での販売拡大に加え、新規採用も進展したことから、2026年6月期の売上高は4,342百万円となり、前年同期比577百万円増(15.3%増)を達成いたしました。

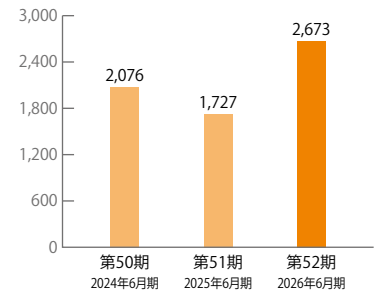
POINT ② 営業利益

包装資材価格の上昇、人件費の増加、エネルギー価格の高止まりに加え、円安の影響もあり売上原価が前年同期比277百万円増加いたしました。一方で、販売数量の増加による生産効率の向上や工場内ロス率の改善を進めた結果、売上総利益は841百万円と前年同期比59百万円増となりました。荷造運賃や販売手数料など物流・販売関連コストが増加しましたが、売上高の拡大に伴う売上総利益の増加により、営業利益は228百万円(前年同期10百万円)となり、過去最高を更新いたしました。

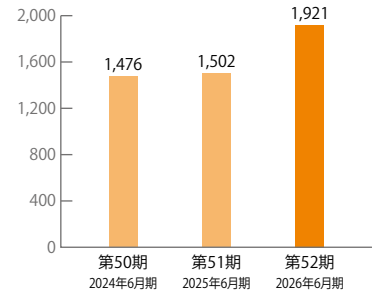
売上高 (百万円)



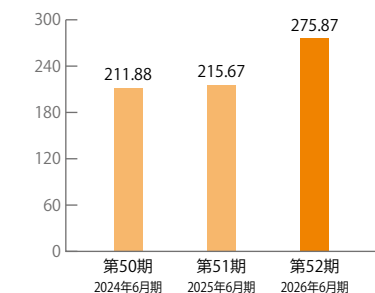
経常利益 (百万円)



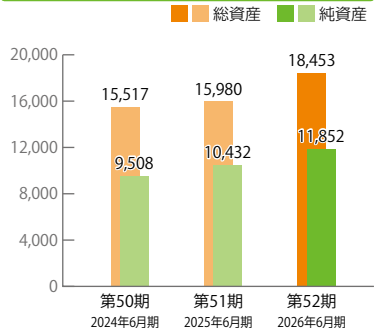
当期純利益 (百万円)



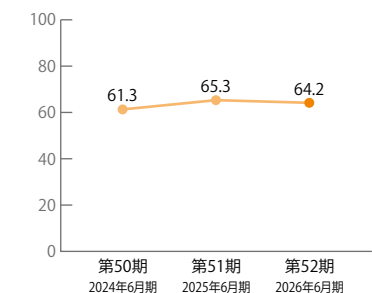
1株当たり当期純利益 (円)



総資産／純資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



当期の業績について

2026年6月期の売上高は、23,238百万円(前期比10.3%増)となり、過去最高を更新いたしました。営業利益、経常利益および当期純利益についても過去最高益を達成いたしました。

株主還元について

2026年5月13日の配当予想では、期末配当を46円と予想しておりましたが、計画を上回る利益計上をすることが出来たので、48円に増額することいたしました。

貸借対照表 (単位:千円)	前 期 末 (2025年6月30日現在)	当 期 末 (2026年6月30日現在)
資産の部		
流動資産	3,679,416	3,739,216
固定資産	12,301,143	14,714,219
有形固定資産	12,177,352	14,584,867
無形固定資産	55,332	56,871
投資その他の資産	68,457	72,480
資産合計	15,980,559	18,453,435
負債の部		
流動負債	3,947,165	5,458,124
固定負債	1,601,001	1,142,638
負債合計	5,548,167	6,600,762
純資産の部		
株主資本	10,432,095	11,852,455
資本金	1,245,724	1,245,724
資本剰余金	1,218,724	1,218,724
利益剰余金	7,968,617	9,388,978
自己株式	△972	△972
評価・換算差額等	297	217
その他有価証券評価差額金	297	217
純資産合計	10,432,392	11,852,673
負債純資産合計	15,980,559	18,453,435

POINT ①

売上原価は人件費の上昇、エネルギー価格の高止まりのため増額いたしました。売上原価率では76.2%(前年同期79.5%)と改善されました。

損益計算書 (単位:千円)	前 期 (2024年7月 1 日から 2025年6月30日まで)	当 期 (2025年7月 1 日から 2026年6月30日まで)
売上高	21,064,618	23,238,268
売上原価	16,741,991	17,696,791
売上総利益	4,322,626	5,541,477
販売費及び一般管理費	2,594,847	2,892,416
営業利益	1,727,778	2,649,061
営業外収益	19,968	48,235
営業外費用	19,825	23,907
経常利益	1,727,920	2,673,389
特別利益	444,503	—
税引前当期純利益	2,172,424	2,673,389
法人税、住民税及び事業税	535,267	823,260
法人税等調整額	134,566	△71,865
法人税等合計	669,833	751,395
当期純利益	1,502,590	1,921,993

キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)	前 期 (2024年7月 1 日から 2025年6月30日まで)	当 期 (2025年7月 1 日から 2026年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,787,919	4,007,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,223,441	△4,031,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548,936	△416,609
現金及び現金同等物の増減額	15,541	△441,443
現金及び現金同等物の期首残高	840,983	856,524
現金及び現金同等物の期末残高	856,524	415,081

POINT ②

販売費及び一般管理費は荷造運賃と販売手数料が増加いたしました。他の費用は前年並みで営業利益増加に繋がりました。

会社概要 (2026年6月30日現在)

商号	株式会社やまみ
設立	1975(昭和50)年1月
資本金	1,245,724千円
従業員数	正社員 276名 パート 373名 計 649名
本社	広島県三原市沼田西町小原字袖掛73番地5

役員 (2026年9月29日現在)

代表取締役会長	山名 清	取締役(社外)	後藤 和之
代表取締役社長	山名 徹	取締役(社外)	佐々木公江
常務取締役	池田隆幸	常勤監査役	中島 淳
取締役	西岡俊紀	監査役(社外)	濱田隆祐
取締役(社外)	七川 雅仁	監査役(社外)	山脇 将司

株主の状況 (2026年6月30日現在)

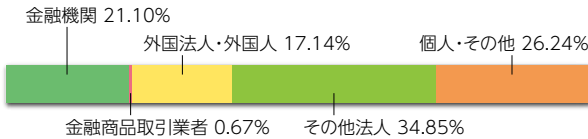
発行可能株式総数	25,504,400株
発行済株式の総数	6,967,500株
株主総数	1,740名

大株主 (2026年6月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
やまみホールディングス株式会社	2,402	34.47
山名 徹	846	12.15
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	710	10.19
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	471	6.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	436	6.26
野村信託銀行株式会社(投信口)	289	4.15
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	200	2.87
山名 清	92	1.32
CACEIS BANK, LUXEMBOURG BRANCH / UCITS - FULL TAX	84	1.21
栢原 伸也	68	0.98

(注) 1.所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況 (2026年6月30日現在)



株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月中
単元株式数	100株
剰余金の配当基準日	期末配当 6月30日 中間配当 12月31日
基準日	6月30日 その他、必要あるときはあらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
特別口座 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	本店証券代行部
公告方法	電子公告 (https://www.yamami.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることがで きない場合は、日本経済新聞に掲載し て行う。
お問合せ先 (郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社
(電話照会先)	電話 0120-288-324

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。